

令和4年度日本小児外科学会
第1回定例理事会議事録

日 時：令和4年6月13日（月）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、大植孝治、
田中 潔、瀧本康史（以上理事）、黒田達夫、山高篤行（以上監事）、
柴田晶子、仁田尾慶太（以上事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（理事・次期会長）、越永従道（理事・前会長）、石橋広樹、内田広夫、
米田光宏（以上理事）、照井慶太（庶務委員長）、上原秀一郎（財務会計委員長）、
藤野明浩（庶務副委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、神山雅史（庶務委
員）、木下義晶（施設認定委員会委員長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、
古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム
会長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

議事案件

- 1.第1回定例理事会の議事録署名人は、大植孝治理事、米田光宏理事とした。
- 2.令和3年度第8回定例理事会議事録につき全会一致にて承認された。
- 3.上原秀一郎会長付庶務委員より退任の挨拶がなされた。
- 4.神山雅史新会長付庶務委員就任の挨拶がなされた。
- 5.専門医制度両委員長として、木下義晶評議員を施設認定委員会委員長、岡島英明評議員を
専門医認定委員会委員長に選任することが承認された。
- 6.事務局担当者が仁田尾慶太氏から柴田晶子氏に交代することが報告された。専門医制度に
ついては、引き続き、仁田尾氏が担当する。

7.審議事項

1)第59回学術集会について(越永前会長)

越永前会長より、収支決算報告については現在取りまとめているところであるが、演題
数・学術集会参加者数が報告され、了承された。

2)第60回学術集会について(奥山会長)

奥山会長より提出された資料に基づき報告され、承認された。

- ・第2次会告について、一部文言の修正を加えて、承認された。
- ・演題募集規定について承認された。
- ・ビデオ募集については、奥山会長と米田学術・先進医療検討委員会担当理事で相談の上、
文言を作成することが報告された。

3)第 61 回学術集会について (田尻次期会長)

田尻次期会長より、準備状況が報告され、了承された。

会 期： 2024 年 5 月 30 日 (木) ~6 月 1 日 (土)

会 場： ヒルトン福岡シーホーク

会場主体とし、WEB は後日オンデマンド配信することを検討している。

4)第 38 回秋季シンポジウムについて(野田秋季シンポジウム会長)

野田秋季シンポジウム会長より進捗状況が報告され、承認された。

- ・ 6 月 27 日から演題登録開始であることが報告された。
- ・ シンポジウムは現地開催であることが報告された。
- ・ 専門医制度説明会については 2 日目の 18 : 00-19 : 00 頃に開催する予定であることが報告された。
- ・ 専門医認定委員会の開催日時はこれから調整する予定であることが確認された。

5)第 39 回秋季シンポジウムについて(臼井次期秋季シンポジウム会長)

臼井次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：2023 年 10 月 28 日 (土)

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

コンベンション業者：九州舞台

6)第 40 回秋季シンポジウムについて(田中次々期秋季シンポジウム会長)

田中次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：2024 年 10 月 26 日または 11 月 2 日 (予定)

会場：一橋講堂 (予定)

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

- ・ 日本専門医機構や行政に講演してもらうことも検討している。
- ・ 一橋講堂は国立大学の先生であれば 2 年前から予約ができるので、奥山理事長の名前で予約することになった。

7)各種委員会報告および審議事項

(1)庶務委員会(照井委員長)

- ・ 照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。2022 年 5 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,653 名 (うち海外 1 名)、準会員 25 名、評議員 307 名、名誉会員 56 名 (うち海外 8 名)、特別会員 67 名 (うち海外 1 名)、賛助会員 1 団体 (2 口) の合計 2,108

名+1団体である。

- ・追悼文の掲載について確認があり、小林 尚先生については浜田 弘巳先生に伺うことになった。
- ・評議員選挙スケジュールについて報告され、承認された。

(2)財務会計委員会(上原委員長)

上原委員長より、新たな年会費口座の開設申し込み中であることが報告された。

(3)専門医制度委員会（木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・新専門医制度への対応に関する説明会について告知したことが報告された。
- ・説明会は日本小児外科学会 HP の「会員向けコンテンツ」（学会員のアカウント/パスワードの入力が必要）中から、オンデマンド配信をする予定であることが報告された。
- ・説明会を HP にアップするにあたり、税込み¥17,600-の費用がかかることが報告され、承認された。
- ・研修プログラム・カリキュラムの申請期間（各施設統括責任者より日本専門医機構へ提出）が 2022 年 7 月~8 月と予想されることについて報告された。
- ・日本専門医機構から委託されるであろう研修プログラム・カリキュラム申請書審査について、2022 年 9 月 25 日（日）11:00~17:00 を仮予定として設定していることが報告された。
- ・施設認定委員会の新規・更新審査を 2022 年 7 月 18 日（月）11:00~17:00、2022 年 8 月 28 日（日）12:00~15:00 に開催することについて報告された。
- ・専門医・指導医新規・更新申請は 2022 年 8 月 31 日が〆切であることが報告された。
- ・新規の専門医筆記試験は例年通り 11 月の第三日曜日である 2022 年 11 月 20 日に AP 品川で行う予定であることが報告された。
- ・奥山会長から来年の学術集会で新専門医制度をめぐる諸問題についての一時間程の企画をすることが依頼され、了承された。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5)国際・広報委員会(淵本担当理事)

淵本担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・HP の会員向けコンテンツ内にロボット支援下手術のボタンを新設し、指針や申請に関する

る書類にリンクできるように設定したことが報告された。

- ・ Hot News のバナーの場所は広告バナーの下に掲載することが報告された。
- ・小児外科のいる病院・指針等・診療ガイドラインの掲載場所変更などについて報告された。
- ・各委員会からの HP 掲載、会員メール・臨時メールなどに対応したことが報告された。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ K674-2 腹腔鏡下総胆管拡張症手術 (ロボット支援下) の指針、プロクター制度につき学会 HP に掲載が必要となったため、本案件について補佐となった名古屋大学内田広夫先生、順天堂大学古賀寛之先生が提示した原案 (日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会と同等の内容) が提出され、承認された。
- ・日本外科学会保険診療委員会より、供給停止予定品目調査 (医薬品、医療材料) の提示があり、メール審議にて当学会としては問題のないことを確認、報告した。

(7)教育委員会(内田担当理事)

内田担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・第 38 回以降の卒後教育セミナーは 7 月下旬の日曜日に小児内視鏡外科手術セミナーと併せて 1 日で開催する予定であることが報告され、承認された。
- ・第 37 回のセミナー運営において当日朝のマイナートラブルで Zoom 立ち上げが開始予定時間間際になってしまったため、トラブルシューティングの観点から来年以降も Web 開催の業務委託を継続したい旨、委託費は 30 万円程が見込まれることと併せて報告され、承認された。
- ・セミナーテキストの配布方法を冊子から PDF へ切り替えを予定していることが報告され、承認された。
- ・第 37 回卒後教育セミナーについて報告された。
- ・第 12 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・第 13 回小児内視鏡外科手術セミナー(PSJM 時)について報告された。
- ・学生を対象とした PR ビデオ作成の進捗状況について報告された。
- ・E-learning について、日本外科学会のシステム見直しが来年 2 月の運用開始を目標に行われているため、日本外科学会からの連絡を待っている状況であることが報告された。小児外科専門医と外科専門医の連動更新のため、資金を集めることが承認された。

(8)悪性腫瘍委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・悪性腫瘍委員会では現在 2011 年から 2017 年の追跡調査をおこない、活動計画として 2023 年に追跡調査報告を予定しているが、近畿地区の追跡調査が遅れている。近畿地区

は、調査対象施設も多いため、調査人員拡充のため地区センター幹事である野村元成先生（大阪大学）に、三藤賢志先生（大阪市立総合医療センター）を近畿地区センター幹事として追加していただき、遅れている近畿地区の追跡調査の改善を図りたいとの報告がされ、承認された。

・近畿地区を大阪と大阪以外の近畿地区にわけて幹事の野村・三藤両先生に担当していただくことが承認された。

(9)学術・先進医療検討委員会(米田担当理事)

米田担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・今年の総会の演題登録の際に①ビデオワークショップと②ビデオセッションの二つの入り口があり、結果的にビデオセッションに応募された演題が上級演題（ビデオワークショップ）への選出対象となっていない可能性が生じた。これを受けて、今年度に限り、全ビデオ演題を審査対象とすることにした。現在再審査中である。

- ・今後の優秀ビデオ演題の選出方法について報告された。
- ・対象はビデオセッションとする。
- ・会長が抄録の点数で審査対象となる 10 本を選び、本委員会に審査を依頼する。
- ・優秀ビデオ選考対象のスクリーニングの仕方を本委員会で検討する。
- ・「小児腭腫瘍に関する全国アンケート調査」について名古屋大学の牧田先生より審議依頼があった。
- ・情報収集のアンケート用紙を提出していただき、学術・先進医療検討委員会で施設の負担を確認する。
- ・アンケートの実施については、学術・先進医療検討委員会→所属施設の順で承認を得る。

(10)倫理・医療安全管理委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

・奥山会長より、学会誌 8 月号に掲載する第 2 次会告につける「倫理的配慮と手続き」について石橋担当理事に確認が依頼され、了承された。

(11)データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

・2022 年度 NCD データ（小児外科領域）を用いた研究課題について、委員会内での審査が終了した。点数に基づいた上位 2 課題は 22-02・22-03 だが、これは最終決定ではない。現在、22-01 を含めた上位 3 課題を研究倫理委員会、利益相反委員会で審査している。22-02 は採択が確定しているが、22-03 は修正が必要なため、〆切を 6 月 20 日として、修正したものを再提出するよう依頼している。修正した課題を再度研究倫理委員会、利益相反委員会で審査し、その結果によって、22-01 を採択するか、22-03 を採択するかが決

定する。

(12)小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、昨年度の門田班の研究であるサブグループ解析の進捗状況について報告された。今年度の門田班の研究の進捗状況についても報告された。今年度の研究については、学術・先進医療検討委員会に提出し、承認を得てから委員会でのアンケート調査を行う予定であることが報告された。

(13)トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、田附委員長がガイドブックに追加する可能性がある 5 疾患のデータをとりまとめていることが報告された。とりまとめ後、委員会で検討する予定であることが報告された。改定の終わっている既存の 8 疾患に新たな疾患を加えてパブリックコメントを作り、新しいガイドブックに反映させる予定であることが報告された。

(14)ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

- ・2021年12月に行われた「ハラスメントに関するアンケート調査」結果について、第59回日本小児外科学会学術集会の中で報告した。
- ・第59回日本小児外科学会学術集会(5月19日～21日開催)内の5月20日に日本医師会女性医師支援センターの共催で「ハラスメントのない職場づくり」と題して2時間枠の企画を行った。アンケート結果は、14%程度の回答率ではあるものの、ハラスメントが日常的に行われている現状が明らかとなり、かつそれを訴えることができない環境であることが示された。会場からは、職場に相談窓口があっても上司であれば相談しにくい。第三者の相談窓口にとどり着けるような方法が知りたい、という切実な希望も聞かれた。小児外科医が生き生きと働けるような体制づくりに学会として積極的に取り組んでいくことは喫緊の課題である、と報告された。
- ・2022年10月に開催予定の秋季シンポジウム、PSJMにおいて、当委員会恒例の講演会(第10回)を計画していることが報告された。
- ・例年、学術集会における企画や講演に際して共催申請をしている、日本医師会の女性医師サポートセンター「医学生、研修医等をサポートするための会」に、今年度も継続して共催を申請することが報告された。
- ・提出された「ハラスメント防止宣言」の文言を修正することが確認された。

(15)規約委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・「各種委員会開催地選定と旅費支給に関する規約」と「WOFAPS旅費支給規定」につい

て、理事会内規とするか会員に公開するかについて審議が求められ、理事会内規とすることが承認された。

- ・「WOFAPS 旅費支給規定」が定められていることが理事会内であまり認識されていないので、新理事会発足の都度理事会内規を確認することが了承された。
- ・内規集から各委員会の先生方に振り分け、タイトルに会員に公開するか否か等をタイトルにいたした 17 のファイルについて、各担当理事に再確認の上、問題があれば石橋担当理事または内田委員長に連絡するよう依頼された。

(16)研究倫理委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・個人情報保護法の改正に伴い、「医療行為を主たる目的とする事業者」は学術研究機関等には該当しないとの見解が Q&A[個人情報保護委員会 個人情報の保護に関する法律についての Q&A(行政機関等編)令和 4 年 2 月]において示されたことが報告された。一般の病院は個別に同意取得が必要になる文言になったため、日本医学会連合の門田会長より、国民に不利益をもたらす改正であるとの意見書を提出したところ、観察研究に関する当面の問題は回避されることとなった。ただし、「学術研究機関等」の定義について、医療と研究は一連のものという視点から問題が残っている。本件については、学会 HP にも掲載されていることが報告された。

(17)NCD 連絡委員会(淵本担当理事)

淵本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があった。

- ・日本小児外科学会ホームページにバナーで挿入する案について、NCD 事務局より、NCD の E ラーニング機能に関しては NCD 症例登録システム内での機能となるため、日本小児外科学会 HP にバナーで挿入することはできないとの回答があったことが報告された。
- ・学会ホームページに Q&A を掲載して、E ラーニング登録の際の手助けとすることが承認された。

(18)ガイドライン委員会(米田担当理事)

米田担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・小児外科診療に関連するガイドラインについての審査について報告された。
- ・小児外科診療に関する学会主導ガイドライン作成あるいは協力について報告された。
- ・学会 HP ガイドラインの更新について報告された。
- ・ガイドラインという用語について、Minds の定義に従うことが報告された。
- ・日本外科学会「外科学用語集 Web 版」の改変要望申請中であることが報告された。

(19)利益相反委員会(奥山理事長)

奥山理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20)医薬品・医療機器検討委員会(内田担当理事)

内田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(21)総合調整委員会(小野委員長)

小野委員長より、今年度の委員会開催日程について報告された。

2022年8月4日(月) 14:00-17:00

2022年10月17日(月) 14:00-17:00

2022年12月5日(月) 14:00-17:00

2023年2月6日(月) 14:00-17:00

(22)日本外科学会理事会(田尻前理事長)

田尻前理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(23)四者協関連(奥山理事長)

奥山理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

8)選挙管理委員の選任について(奥山理事長)

奥山理事長より資料に基づき、以下の点について報告があった。

- ・評議員選挙の公示が提出され、承認された。
- ・選挙管理委員として大阪大学の正畠和典評議員を選任することについて承認された。

9)専門医制度庶務委員の任期について(奥山理事長)

奥山理事長より資料に基づき、以下の点について報告があった。

- ・古村 眞専門医制度庶務委員長と岡崎任晴庶務副委員長(専門医)は今期も継続とし、瀧本康史庶務副委員長(施設)、文野誠久庶務副委員長補佐の交代については、後任の選任と併せて奥山理事長の発議によるメール審議とすることが承認された。

10)専門研修施設群のブロック化について(奥山理事長)

奥山理事長より資料に基づき、以下の点について報告があった。

- ・総合調整委員会に、人口統計・出生数等でブロックを作り、どういうものが現実的に可能かを検討するための案の作成が依頼され、承認された。
- ・ブロック化の青写真を早めに作成して、三ッ林裕巳内閣府副大臣に相談することも検討していることが報告された。

11)ロボット支援下総胆管拡張症手術プロクター申請受付について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、ロボット支援下総胆管拡張症手術プロクター申請受付について報告があった。

4.報告事項

1)理事長報告(奥山理事長)

（1）日本医学会からの寄贈本「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて」を受領した。

（2）厚生労働省からの寄贈本「血液製剤に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について」を受領した。

2)次回定例理事会日程の確認(奥山理事長)

次回定例理事会は令和4年9月7日(水)11:00～16:00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____